

小児集中治療室 カラフルに



新しい小児集中治療室には、壁に太陽や花の絵が描かれ、床は木目調になっている＝安曇野市豊科の県立こども病院

県立こども病院 第1期増床完了

県立こども病院（安曇野市豊科）南棟2階で進められていた小児集中治療室（PICU）の第1期増床工事が完了し、13日に増築部分が公開された。これまでなかった個室を新設し、室内の壁は八つの色を配して明るい雰囲気にした。

太陽や花、シロクマの姿も

同院には重症患者が集中し、PICUの満床が常態化している。このため、病床数を増やす必要があった。

増築部分（8床）は約380平方メートルあり、今月18日から稼働させる。これまでPICUには個室がなかったが、増築部分の4床を個室とした。プライバシーに配慮し、残りの4床についても可動式の壁などで仕切れるようにした。同病院では従来の8床のうち1床を緊急搬送の患者用に空けているため、実際に稼働させられる病床は7床だった。

また、入院する子どもと保護者の心を和ませようと、増築部分の壁にはお花畑や太陽の光などの絵が描かれている。個室ごとにカーテンや内装の部品などの色も統一した。看護師の発案で、室内には病院のキャラクターの「ちるくま」というシロクマの絵が随所に描かれている。

原田順和院長は「ベッド回りがより広くなり、患者の様子を把握しやすくなる。また個室化によって、感染症にも強くなる」と話した。

今月中に始まる第2期工事では、従来のPICU（8床分）を4床分に改修する。うち1床を個室にする方針という。

同病院によると、PICU改修の総事業費は、医療機器購入費を含めて約6億7千万円。